

## 高齢者の色彩と図柄の好み(1) - 色彩嗜好の推移 -

○今井弥生\* 井澤尚子\* 長塚こずえ\*\* 椋梨純枝\*<sup>3</sup> 青木迪佳\*<sup>4</sup> 天羽教子\*<sup>5</sup>  
 (\*東京家政学院短大 \*\*東京家政大短大 \*<sup>3</sup>宇部短大 \*<sup>4</sup>長崎県立女子短大  
 \*<sup>5</sup>愛知女子短大)

目的 戦後、日本人口の高齢化に対応し、色彩・意匠学部会は全国65歳以上の健康な男女を対象に、色彩感情の諸問題を定量的に調査、解析、報告を行ってきた。

本報は1987年、'93年、'97年の11年間に及ぶデータに表れた色彩嗜好の推移から規則性を探り、高齢者の生活に優しい色彩計画の資料を提供する。また、(2)、(3)では新しく図柄の嗜好調査を行い、色彩と図柄との関連において問題提起を試みる。

方法 対象(フェイスシート)、試料(カラーチャートJIS 80色)、観察(JIS Z 8723)、質問(面接質問紙法、色彩好悪と感情価、9月実施)、場所(各地域の敬老館、老人クラブ、オフィス、在宅ほか)、解析(経年嗜好率と相関、評点平均、相関行列、主成分分析)。

年	人数	男	女	65~74	75以上	職有	無	未婚	既婚	1人	夫婦	同居	一戸建	集合
1987	2008	647	1361	1319	689	325	1683	81	1927	454	534	1020	1632	376
1993	2100	574	1526	1333	767	378	1722	101	1999	379	699	1022	1628	472
1997	2004	594	1410	1178	826	296	1708	79	1925	381	672	951	1604	400

結果 嗜好率の高い順に男性 3.8G5.4/10.1, 10B6.5/7.5, N9.3。女性 5P3.5/10.2, 5.3P2.6/8.3, 10PB7/6 となり経年的な変動は少ない。嫌悪色は性差なく N1.2, N3.5, 4.4R4.2/13.7である。性別特徴として色相は男性が青から緑、女性は青から紫の方向に、トーンは明るい、あざやかなが好まれる。男女間の嗜好色の相関は0.3で異なり、嫌悪色は0.8で類似する。イメージプロフィールはこころよい、上品な、美しいは上位で、地味な、渋い、流行のは下位。Ⅱ軸、Ⅲ軸における因子の解釈、男性は若さ、女性は美しさへの回帰現象が認められる。